

平成 28 年度 幹事会

1 日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）19：00～20：30

2 場所：三宮センタープラザ 西館 6 階 17 号会議室

3 出席者：大門会長、寺谷副会長、濱村副会長

KTC（岩田理事、宇田理事、池野監事）

常任幹事（芦田、福田、北田、石原、奥村、能勢）

神戸大学（喜多教授）

新役員候補（油井、金治、門脇、中西、廣田、向井）

他クラス幹事 16 名（別紙のとおり）

4 議事内容

1) 平成 28 年度総会について（資料 1）

- ・資料のとおり（質問、意見等なし）
- ・5 期の、森田道弘氏も H28.4 に亡くなっているので、物故者に追加
- ・新役員候補者のあいさつ

2) 会費会員の推移について（資料 2）

- ・資料のとおり
- ・誰が会費会員か名前はわかるか？
 - 学年幹事ごとに配布している資料に年会費と記載のある方が会費登録済みの方々
 - 学年ごとの横のつながりに加え、職場などの縦のつながりも使って協力願いたい。
- ・まずは学年幹事にもっと幹事会に出席してもらおうよう働きかけすることが大事。出席率が低い。
- ・学年幹事が責任を持って、自分の学年の会費登録の勧誘をすべきだが、役員から学年幹事に勧誘の依頼をすべきでは？
 - 本日欠席の学年幹事には、当学年の登録名簿を郵送するなどして対応する。
- ・勤務先の変更等で、結果的に遠方の方が学年幹事になってしまうことある。そこは、役員が状況を把握し、移動がわかった時点で役員から、「関西在住の方への学年幹事交代」を打診した方が良いのではないか。
 - 学年幹事は複数名も OK なので検討する。
- ・学年幹事からの勧誘は限界がある。直接訴えがけづらい。KTC の会費を払っている人で暁木会の会費を払っていない人が解るのであれば、（その会員は会費を支払う気は有りそうなので）そういった人に KTC 経由で会費納入の依頼をするのも一方策では。また、会費納入パターンの種類（終身・数年一括・年度ごと）を増やして勧誘に結びつ

けてはどうか。

→何かの機会に KTC 事務局に相談することも検討したい。

- ・昨年度の卒業生の登録率が惨憺たる状況。学校からも卒業前に念入りに話したつもりだったのだが。卒業前に周知するのが大事。それまでいろいろと手をつくせる。
- ・とにかく会費会員を増やしていくことが大事。大学の協力も得ながら、新会員に入ってもらい働きかけを続けてもらいたい。

3) その他 (資料 3、4)

○平成 28 年度 暁木会総会 進行次第 (案)

- ・資料のとおり (意見、質問なし)

○暁木会ニュース No.34 (3 月発行) について

- ・資料のとおり
- ・先日同窓会を行った。34 号への寄稿はまだ可能か
→印刷済みなので、次回 9 月号への寄稿をお願いしたい。

○平成 29 年度 神戸大学市民工学科 2 年生のギャップターム型インターンシップに関するご協力をお願い (神戸大学)

- ・資料のとおり
- ・交通費はどうするのか？
→双方協議のうえ決定してもらえばよい。「交通費は払えない」という条件で募集すれば、それでもよいという学生が手をあげるだろう。
- ・3 回生のインターンシップ制度はどうなるのか？
→今までどおり実施する。3 回生は単位にもなる。2 回生は社会での経験を積むのが目的。
- ・KTC から 300 社に照会をかけたが、30 社 (内市民工学科は 7 社) しか受け入れの表明してくれなかった。今回も多数社望めないのでは。
→現在、KTC からインターンシップ協力依頼を行っているが、行政機関への依頼が手薄であり、行政機関にも協力いただきたいと考えている。
- ・インターンシップは 3 回生のみ受け入れると決めている会社もあるのでは？
→「インターンシップ」ととらえずに、「無償のアルバイト」と考えていただくなど、各企業で柔軟に対応してほしい。
- ・2 回生は専門知識が少ないと思うが、本制度の目的は？
→社会での経験を積むことと、「仕事とは」というものを身をもって体験してもらうことである。